



会報第153号
 令和5年7月31日発行
 阿戸地区社会
 福祉協議会
 広島市阿戸福祉センター内
 電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口
 世帯数 928戸
 人口 1,902人
 男 925人
 女 977人
 (令和5年6月末現在)



竹あかり&ほたる祭り 開催 令和5年6月10日(土)

4面に関連記事掲載

令和5年度を迎えて
 阿戸地区社会福祉協議会会長 池田 正裕

令和5年度から、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「2類」から「5類」に移行され、ウィズコロナに向けての動きが加速されました。しかし、高齢者は十分な注意が必要なことに変わりはありません。新型コロナウイルスの状況に影響される可能性はありますが、予定通りの事業が実施できるという前提での今年度の事業計画としております。

阿戸町の高齢化率は40%に近づき、少子高齢化は一段と進んでいます。住民一人一人を取り巻く生活課題や福祉課題も、一層多様化し深刻の度を深めております。今年度も引き続き広島市社協が推進しております「新・福祉のまちづくり総合推進事業」を中核に位置付けて、各事業に取り組んで参ります。「高齢者地域支え合い事業、支え合いあーとネットワーク」、「住民主体型生活支援訪問サービス、あつ協力隊」の充実による福祉のまちづくりの推進、ふれあいいきいきサロンの活動支援による「絆」づくり、ボランティアの確保・育成、福祉教育と世代間交流事業の推進、地区社協の活動拠点と活動体制の整備等を重点項目として活動を進めて参ります。今年度も阿戸地区社協に対してのご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

「令和5年度事業計画・予算について」

阿戸地区社会福祉協議会 事務局長 林 文明

令和5年4月21日に阿戸福祉センターにて開催された評議員会で阿戸地区社会福祉協議会の令和5年度事業計画と予算が承認されました。令和5年度は引き続き広島市社協が推進しております「新・福祉の街づくり総合推進事業」を中核に位置づけ、「高齢者地域支え合い事業」として、各種団体や近所の方々が一体となって一人暮らしや病弱などの高齢者の方に対し、声掛

け、見守りを行い、共に支え合う地域社会づくりを目的とする「支え合いあーとネット」のさらなる充実に務めます。「あと協力隊」の利用者の拡大、サービスタ提供ボランティアの増加に努め、円滑な運営を目指す福祉教育と世代間交流事業子育て支援等も引き続き取り組みます。これらを着実に実施するため、別表の通り予算を計上しております。

令和5年度 阿戸地区社協 予算状況

(円)

取入の部	予算項目	本年度予算額	比率	前年度予算額
	正 会 費	144,000	8%	290,400
	賛 助 会 費	100,000	6%	100,000
	補 助 金	430,000	25%	430,000
	寄 付 金	100,000	6%	100,000
	繰 入 金	0	0%	0
	雑 収 入	2,373	0%	2,623
	繰 越 金	923,627	54%	976,977
	合 計	1,700,000	100%	1,900,000

支出の部	事業費	本年度予算額	比率	前年度予算額
	事 務 費	145,000	9%	135,000
	総 務 費	190,000	11%	210,000
	広 報 費	190,000	11%	200,000
	地 域 福 祉 費	360,000	21%	370,000
	高 齢 者 福 祉 費	440,000	26%	440,000
	ボ ラ ・ 推 進 費	100,000	6%	100,000
	児 童 等 福 祉 費	150,000	9%	150,000
	障 害 児 者 福 祉 費	60,000	4%	60,000
	備 品 費	30,000	2%	50,000
	予 備 費	35,000	2%	185,000
	合 計	1,700,000	100%	1,900,000

令和5年度 活動方針

地域福祉部会

部会長

池田 正裕



福祉活動に関わる関係機関・団体等との連絡を密にして、地域福祉活動事業の円滑な推進に務め、地域包括ケアシステムの一端を担う活動を行います。

主な事業として、(1)地域福祉活動の啓発を図ると共に福祉ニーズや社協への要望等を把握するために、町内会ごとの「地域福祉懇談会」を開催する(2)いきいきサロンについては、現在開設されている10サロンについて活動支援を行うと共に、新規サロンの開設を目指す(3)各町内会単位でのネットワーク強化のための活動助成を行う(4)地域団体連携支援基金事業費助成金の助成を受けて事務所機能を向上させ、各種団体の活動支援を強化する等を実施してまいります。



【令和5年度 役員・評議員】

役職・名前・所属部会(◎は部会長)・出身団体 (役職別に五十音順・敬称略)

◆ 会 長

池田 正裕 ◎地域 連合町内会(第3区)

◆ 副会長

松田 英子 児童 民生委員・児童委員 協議会

◆ 理 事

越智三千彦 高齢者 連合町内会(第1区)

児玉 攻 高齢者 老人クラブ連合会

下河 啓一 児童 連合町内会(第6区)

下條 孝志 広報 小中学校PTA

田中 秀昭 ◎児童 連合町内会(第5区)

出口 勝紀 ◎高齢者 ボランティアグループ

林 文明 ◎事務局 青少年健全育成連絡協議会

久光 肇 ◎広報 体育協会

堀内 直子 地域 女性会

松田 康憲 高齢者 連合町内会(第4区)

道村 義憲 広報 連合町内会(第2区)

横山 吉史 地域 学識経験者

◆ 監 事

植片 洋幸 地域 連合町内会(第3区)

竹廣 潔 児童 体育協会

◆ 評議員

小野ヨシ子 高齢者 民生委員・児童委員 協議会

景山 守之 地域 連合町内会(第5区)

川崎 忠文 児童 連合町内会(第2区)

川崎富美子 高齢者 女性会

広報部会

部会長
久光 肇



今年度も、阿戸地区社協の社会福祉活動や社会福祉協議会の実施する、諸事業に対するご理解や、ご参加を得るために、広報、啓発活動を行います。

そのために、各機関で開催された行事の内容を、町民の皆様にお知らせする会報「あと社協」を、年3回（7月、11月、3月）発行いたします。

また紙面の充実をはかって、賛助会員を含み、全会員に配布いたします。

皆様に喜ばれる「あと社協」の発行に、広報部会員一丸となつて、広報活動に取り組んでいきますので、ご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

児童・障害児者部会

部会長
田中 秀昭



コロナウイルス感染症も「5類」に移行され、まだまだ油断できませんが、今年も、子育て事業を柱とし、又、障害児者の理解と仲間づくりを進めるため

に、事業計画を立てて、学校サイトと民児協とそして部会員と協議を行い、地域の方たちの協力を得て、事業を実施していきます。

具体的には「子供と地域の人とのクツプ交流会」「親子の集い」「中学3年生と高齢者との交流会」「中学1年生とのしめ飾り作り」等々、また「こんにちは赤ちゃん事業として親子に絵本を贈る」「入学記念品・卒業記念品」の贈呈も行っております。

これらの事業を通して、小中学校の児童・生徒に「福祉の心」を醸成するため、見直し工夫しながら進めてまいります。

高齢者・ボランティア部会

部会長
出口 勝紀



① ボランティアアバンク活動の推進

ボランティアアバンクを阿戸福祉センターに配置し、毎月の第一、第三金曜日に困りごと等の相談に応じます。

令和元年10月からスタートした有償ボランティア「あと協力隊」の活動を、さらに広め充実を図るためにパンフレットの見

直しやボランティア登録者の増加に努めます。

また、ボランティア育成のために、ボランティア交流会を実施します。

②「支え合いあーとネット事業」の充実
支え合いあーとネットに登録されている方を対象に、声掛け、見守りにより安否確認と心のふれあいを深めるために、毎月一回以上の訪問を継続し、また時期を限定しての栄養補助食品等を持参することも継続して実施します。

③ 世代間ふれあい交流会開催

80歳以上の一人暮らし、ふたり暮らし高齢者と阿戸認定こども園園児との「ひなまつり交流会」を実施します。

④ 住民福祉講座の開催

地域住民に福祉活動への理解を図るため、年に2回の福祉講座を開催します。

⑤ 友愛訪問事業

業や「いつまでも元気な老人」活動を行っている老人クラブ連合会への活動助成



桐野 直子 児童 民生委員・児童委員 協議会

小森 崇 広報 青少年健全育成連絡協議会

追 賢治 高齢者 老人クラブ連合会

追口 真生 児童 ボランティアグループ

佐々木貴之 児童 小中学校PTA

下河 一宏 広報 連合町内会(第6区)

鈴政 良男 広報 防犯組合

田部 義光 高齢者 民生委員・児童委員 協議会

長谷川 進 広報 連合町内会(第1区)

古井 智子 児童 民生委員・児童委員 協議会

前中 琴衣 高齢者 小中学校PTA

宮野 清貴 高齢者 連合町内会(第4区)

三山真由美 地域 民生委員・児童委員 協議会

〈お世話になりました〉

令和4年度をもって退任された方々です。ありがとうございました。

◆ 評議員

景山 香葉 地域 民生委員・児童委員 協議会

景山 英俊 児童 小中学校PTA

下條 美香 児童 ボランティアグループ

島 佳代子 高齢者 小中学校PTA

3月3日に予定していた世代間ふれあい交流は、その頃、阿戸小中学校でコロナ感染が広がっている状況に鑑み、やむなく中止にさせて頂いています。ひなあられを、園児の皆さんにプレゼントさせて頂きました。

4年ぶりの開催となった「ボランティア交流会」は、7月24日に開催しました。

ふるさと阿戸

『竹あかり&ほたる祭り』

令和5年6月10日(土)

ほたる祭り実行委員会

副委員長 下條 孝志

新型コロナウイルスの第5類引下げ後、久しぶりの町内イベントという事で大勢の方にご参加いただきました。災害復旧工事の影響で当日のホタルは200匹と最盛期の10分の1程度でしたが、竹あかりを1500個準備し、参加者は延べ500名と大盛況でした。

夜店コーナーの特製カレーやブラジル料理、からあげに手羽先などは全て完売。沢山の子ども達に参加してくれて、とても賑やかなお祭りとなりました。

大きな事故もなく無事終える事ができました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。尚、当日はテレビ取材が入っており、後日、夕方のTSSライク!で放送されました。アーカイブ映像がYouTubeでご覧いただけます。添付のQRコードを読み取ってご覧ください。今年、このほたる祭りのように、今まで中止を余儀なくされたイベントが続き々と復活すると思います。皆様、是非ご協力の程よろしくお願致します。



♥賛助会員募集のお願い♥

今年度も引き続き、賛助会員を募集しております。頂きました賛助会費は、「福祉のまちづくり」のため、有効に使わせていただきます。皆様方のご協力をお願いいたします。

一口 5千円
申し込み先

阿戸地区社会福祉協議会

(阿戸福祉センター内)

昨年度(令和4年度)の賛助会員となられた方々は次の通りです。ありがとうございました。

●阿戸町内 (順不同、敬称略)

- 特別養護老人ホームくにくさ苑
- 介護老人保健施設りはくにくさ
- 平垣内組(株)阿戸営業所
- 米吉食品
- 広島阿戸郵便局
- (株)エムテック
- (株)アンドー
- 安芸メタル工業(株)

社会福祉法人無漏福祉会あとの郷
阿戸地区民生委員児童委員協議会

(株)プロスト

(株)TODA

中本興業(有)

芸州運輸(株)

西日本レジコート(株)

●阿戸町外 (順不同、敬称略)

- 安芸農業協同組合萩原支店/熊野町
- (株)アイオイ保険センター/東広島市
- 安芸交通(株)/熊野町
- ひまわり印刷(株)/海田町

今年金婚式を迎えられるご夫婦をお祝いします



阿戸地区社協では、結婚以来50年の永きに亘り、お互い労わり合い、励まし合って家庭の隆昌及び地域社会に貢献されたご夫婦を、11月22日(いい夫婦の日)にお祝いいたします。

昭和48年1月から12月までに婚姻届を提出されておりますご夫婦は、各区町内会長又は担当民生委員までお申し出下さい。詳細は後日お知らせいたします。

善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます。ございました。

◆見舞いの返礼にかえて

- 松田 英子様
- 升田 義文様

お気軽にご相談下さい

第1・第3金曜日午前中(祝日除く)

阿戸地区社協では、皆様の困りごとやボランティア活動の相談に応じています。

掃除機がけ ゴミだし 庭の草刈り など

ボランティアコーディネーターがお待ちしております!

●阿戸地区社協のつぎ

- 4/10 監査会
- 4/14 第1回理事會
- 4/21 第1回評議員會
- 6/18 地域福祉懇談會(第2区)
- 6/24 地域福祉懇談會(第6区)
- 6/25 地域福祉懇談會(第1区)
- 7/2 地域福祉懇談會(第3区)
- 7/15 地域福祉懇談會(第4区)
- 7/15 地域福祉懇談會(第5区)
- 7/24 ボランティア交流會
- 7/31 第2回理事會
- 7/31 「あと社協」153発行
- (今後の予定)
- 8月 第1回住民福祉講座
- 9/16 敬老會
- 9月 第2回住民福祉講座
- 10月 福祉教育推進會議
- 11/22 金婚祝い慶祝訪問

編集後記

コロナも、5類になり、何事にも活気が出てきた、今日です。今年度は各催しが再開し、行事等も増え「あと社協」の紙面も少しずつ内容も濃くなってきました。今後、第9波が来ないことを願いつつ、元気ある阿戸、希望のある阿戸になるよう、皆様のご協力をお願いします。(広報部会 道村 義憲)